

東岡崎駅周辺地区整備 北東街区有効活用事業の事業予定者の決定について

東岡崎駅周辺地区整備の一環として進めている北東街区有効活用事業の事業予定者（優先交渉権者）を決定しました。

本事業は、東岡崎駅周辺の市有地に定期借地権を設定し、民間の活力やノウハウを導入することで、来訪者が回遊と滞留のできる「にぎわいと憩いの空間づくり」を公民が連携して展開していく事業であり、今回の募集は再募集となります。

前回の募集では、本事業の基本目標を具現化できる提案とは言い難いという意見から、優先交渉権者の決定を見送りました。その後、市が求める提案がいただけるように募集条件等の見直しを図り、再募集をかけたところ、5グループの応募があり、本年2月21日に実施した主要鉄道駅周辺拠点整備事業者選定審査委員会の審査結果を受け、下記のとおり優先交渉権者を決定しました。

記

- 1 優先交渉権者 グループ名 チーム葵 （各企業名は別紙資料参照）
- 2 提案の概要 （別紙資料参照）
- 3 応募事業者数 5グループ
- 4 選定の方法 公募型プロポーザル方式
- 5 審査の方法 主要鉄道駅周辺拠点整備事業者選定審査委員会による審査
（審査の内容については、審査講評として後日公開予定です）

(別紙資料)

【優先交渉権者】

グループ名 チーム葵
代表企業 スターツコーポレーション株式会社
構成企業 株式会社アール・アイ・エー
" 岡崎信用金庫
" 株式会社岡崎ニューグランドホテル
" 中部スターツ株式会社
協力企業 スターツ信託株式会社

得点 89点 (小数点以下切り捨て)

借地期間 50年 (一部民間所有地は30年)

借地料 1箇月あたり275円/m²

提案の概要 北東街区を「岡崎の文化を継承し発展させる拠点—新世紀、岡崎の櫓」「東岡崎駅の顔、乙川・市街地の玄関」「駅と川・市街地をつなぐ結節点」と位置付け、大きく二つの機能を導入する提案です。

ひとつ目は、岡崎観光の起点となる「まちのコンシェルジュ機能」として約110室のホテル、約200台収容の駐車場、観光情報発信拠点、レンタサイクル事業です。

ふたつ目は岡崎の“伝統”と“時代感度”の「コネクト(つなぐ)機能」として、カジュアルレストラン・カフェ、岡崎名産と人気飲食店がコラボしたコンセプトレストラン、観光物産や地域に不足する生鮮品を扱うコンビニエンスストア事業となります。

審査委員会においては、本事業の基本目標である「持続可能な魅力ある都市空間の創造」「にぎわいや憩いの空間の創出」の達成に具体的な方策がソフト面・ハード面で示されており、それを確実かつ持続的に進めるように、金融機関や施設管理会社を含めたSPC(特別目的会社)を設立するなど運営計画も優れたものであったことから、今後公民連携で進めていくまちづくりのパートナーとして、最もふさわしい提案であると評価されました。

【次点交渉権者】

グループ名 つむぐ美来(みらい)
代表企業 小原建設株式会社
構成企業 プラザ観光株式会社
協力企業 株式会社クロト

得点 65点 (小数点以下切り捨て)

(別紙資料)

